

様々な「表現技法」について知ろう！

①

表現技法・・・物語や詩、俳句、短歌など文章中に使われる、表現の技や工夫のことです。

◆表現技法を使うと次のような効果を得ることができます。

- ・イメージをよりの確に伝えることができる
- ・印象を強めることができる
- ・感動を高めることができる
- ・余韻を残すことができる（余韻とは感動を長く引くこと）
- ・調子を整えることができる（リズムが生まれる）

「 比喩

・・・ある物事を他のものにとえる表現技法で、イメージをよりの確に伝えることができます。主に三つの方法があります。

① 直喩（明喩）

・・・「まるで／のように／みたいに」などの言葉を使ってたとえる方法です。
例 お守りまもりみたいなあんな小さなちいさなビニール袋

② 隠喩（暗喩）

・・・「まるで／のように／みたいに」などの言葉を使わずにたとえる方法です。直喩よりも強い印象を与えます。
例 人生は一本の道だ

③ 擬人法

・・・人間以外のものを人間にたとえる方法です。生き生きとした印象を与えます。
例 木はささやあざあざいあざあざている

④ その他

擬声語（擬音語）

・・・音や声を言葉に写したものです。
例 雨がざあざあ降る

擬態語

・・・状態の感じを言葉に表したものです。
例 つるつるした石

※擬声語や擬態語を使うと、イメージを伝えるとともにリズムも生まれます。

擬声語と擬態語のことを「オノマトペ」とも言います。

様々な「表現技法」について知ろう！ ②

□ 言葉の並べ方の工夫・・・主に五つあります。

① 体言止め

・・・文や行の最後を体言(名詞)で終える方法です。余韻を残したりきっぱりとした印象を与えることができます。

例

♪津幡南中、わが母校。(校歌にも使われています)

② 倒置

・・・普通の言い方と言葉の順序を入れ替える方法です。リズムが生まれ、情景や心情や強調されます。

例

(普通) たくさんのきれいな星が夜空に輝いている。

(倒置) 夜空に輝いている、たくさんのきれいな星が。

③ 反復

・・・同じ言葉を繰り返す方法です。リズムが生まれ、繰り返されている情景や心情が強調されます。

例

会いたいよ 会いたいよ 涙があふれて 止まらない

④ 対句

・・・対照的な二つの言葉を同じ形で並べる方法です。リズムが生まれ、印象を強めることができます。

例

空はどこまでも高く 海は果てしなく広い

は どのように どんناد

⑤ 省略

・・・文章や言葉を途中で止めて、後を省略する方法です。読む人に自由に想像させることができます。

例

まさか、そんなことになるとは・・・。

詩・短歌・俳句・物語などを読みながら、

どんな表現技法が使われているか考えてみましょう！